給湯省エネ
2026事業

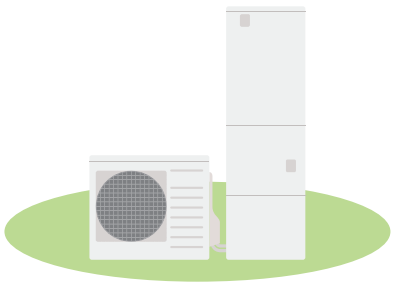
（エコキュート、ハイブリッド給湯機、エネファーム）

高効率給湯器への交換に補助金が活用できます！

補助金が活用できる給湯器は3種類あります！

エコキュート

ヒートポンプ給湯機



ヒートポンプの原理を用い、夜間電力や太陽光で発電した電力を有効に利用してお湯を沸かす給湯器。

補助額（基本額）

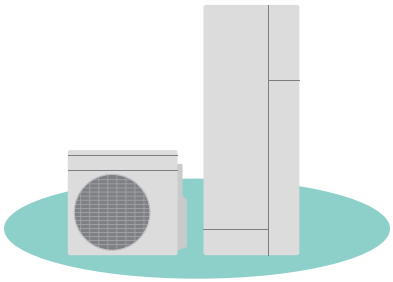
70,000円／台

性能加算額 上記基本額にプラス

30,000円／台

ハイブリッド給湯機

電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機



ヒートポンプ給湯機とガス給湯器を組み合わせた給湯器。電気とガスのふたつの熱源を効率的に用いることで、高効率な給湯が可能。

補助額（基本額）

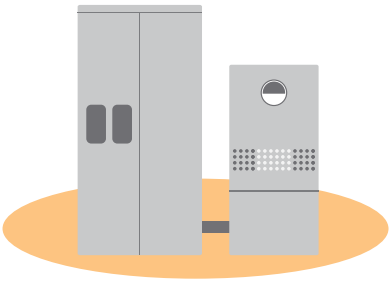
100,000円／台

性能加算額 上記基本額にプラス

20,000円／台

エネファーム

家庭用燃料電池



都市ガスやLPガス等から作った水素と空気中の酸素の化学反応により発電するとともに、発電の際の排熱を利用してお湯を沸かす給湯器。

補助額（基本額）

170,000円／台

給湯器の設置に合わせて、以下の撤去工事を行う場合は、補助額の加算「撤去加算」が受けられます！

電気蓄熱暖房機を撤去の場合 **40,000**円／台

電気温水器を撤去の場合 **20,000**円／台

詳細は裏面をご確認ください

経済産業省
資源エネルギー庁

補助額について

以下①～③の補助額の合計を補助（②、③を満たさない場合は、①のみの補助となります）

① 基本額

設置する給湯器※1	補助額（基本額）	補助上限
エコキュート	7万円/台	戸建住宅：いずれか2台まで 共同住宅等：いずれか1台まで
ハイブリッド給湯機	10万円/台	
エネファーム	17万円/台	

※1 補助対象となる給湯器は、機器ごとにそれぞれ性能要件を満たしたものに限ります。

② 性能加算額

設置する給湯器※2	補助額（加算額）	性能加算要件
エコキュート	3万円/台	基本の性能要件の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ないものとして、2025年度の目標基準値（JIS C 9220 年間給湯保温効率又は年間給湯効率（寒冷地含む））+0.2以上の性能値を有するもの。
ハイブリッド給湯機	2万円/台	基本の性能要件の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ないものとして、一般社団法人日本ガス石油機器工業会の規格（JGKAS A705）に基づく年間給湯効率が116.2%以上のものであること。

※2 家庭用燃料電池（エネファーム）に性能加算はありません。

③ 撤去加算額

工事の内容※3	補助額（加算額）	補助上限
電気蓄熱暖房機の撤去	4万円/台	2台まで
電気温水器の撤去	2万円/台	①で補助を受ける台数まで

※3 補助対象製品の導入と併せて電気蓄熱暖房機または電気温水器を撤去する場合は加算措置を行います。当該加算措置は撤去加算の予算額に達し次第、終了予定です。

交付申請期間は、予算上限に達するまで（遅くとも2026年12月31日まで）となります。

＼この機会に、ぜひ高効率給湯器の導入を検討ください。／

給湯器を交換すると、高い省エネ効果を得られます

（家庭で使うエネルギーの内、約3割が台所やお風呂で使う給湯のエネルギーになります）。

省エネ効果をさらに高めるためにできること

高効率給湯器で省エネ効果を高めるとともに、普段の生活の中で給湯の使い方の見直しなどを行うと更に省エネ効果が高まります。



入浴は**間隔を空けず**に入りましょう。



お湯の出し過ぎに注意し、**シャワー時間を短く**しましょう。



節水・節湯水栓を使い、エネルギーを節約しましょう。

お問い合わせはこちら

事業の詳細はホームページで確認できます

スマートフォンの方はこちら

URL https://kyutou-shoene2026.meti.go.jp/

給湯省エネ2026事業　検索

名刺やスタンプ等のスペースとしてご利用ください